



国際ロータリー2590地区

KAWASAKI ASAO ROTARY CLUB

## 川崎麻生ロータリークラブ

ロータリー：  
変化をもたらす

会長 森 茂則

幹事 森 啓伊



大矢 紀

## 第1239回 例会記録 平成30年6月22日(金) S.A.A委員長 蓬田 忠

【点鐘】 森 茂則 会長

【例会場】 百合ヶ丘カントリー倶楽部

【S.A.A.】 青戸 慶太 委員

【ソング】 ロータリーソング『四つのテスト』

【会長報告】 森 茂則 会長

1. ガバナー事務所より



①各クラブ委員長会議等についての

日程変更お知らせ。

後日担当委員長へメールで  
ご連絡いたします。

②湯川ガバナーが新会員へ差し上げ

ていた記念品は、今年度限りで終了となります。

③覚せい剤乱用防止ポスター等が届いております。

2. 国際ロータリーより

大野会員へ「ポールハリスフェロー」  
の賞状とバッジが届いております⇒

3. ロータリー財団より 寄付明細が

届いております。

4. 麻生区役所より

①『社会を明るくする運動』推進委員会報告が届いております。

②街頭キャンペーン実施のお知らせが届いております。

7月7日(土) 10:30~

【幹事報告】 森 啓伊 幹事

◆他クラブの活動計画書が届く。

○川崎西北RC ○百合ヶ丘RC



第1240回例会 6月29日(金) 今年度最終例会

ホテルモリノ

第1241回例会 7月 6日(金) 次年度初例会・理事役員会①

ホテルモリノ

第1242回例会 7月13日(金) 各委員長就任挨拶

ホテルモリノ

[例会日] 第1・2金曜日 12:30~13:30 [例会場] ホテルモリノ 新百合丘 7F TEL: 044-953-5111

[例会日] 第3・4金曜日 12:30~13:30 [例会場] 百合ヶ丘カントリー倶楽部 2F TEL: 044-966-1300

※第5金曜日 休会または移動例会、他 連絡先 事務所 TEL: 044-951-1322

## 【出席委員会】

宇津木 茂夫 委員

例会数	会員	出席	欠席	修正	出席率
1239回	32	23	9		71.9%
1238回	32	25	7	1	81.2%
1237回	32	23	9	4	84.4%

## 【ニコニコ委員会】

鈴木 昭弘 社会奉仕委員長

	第1239回(件数)	合計
ニコニコ	21件	¥21,000

## ●会員

◇大野勉会員【もう一息です】

◇森茂則会長 ◇森啓伊幹事 ◇臼井勉会員

◇宇津木茂夫会員 ◇梅澤馨会員 ◇親松明会員

◇川崎航会員 ◇木村基会員 ◇木村良三会員

◇黒木啓太郎会員 ◇佐藤達弥会員 ◇志村幸男会員

◇杉山遼会員 ◇鈴木昭弘会員 ◇鈴木眞一会員

◇鈴木豊茂会員 ◇長瀬敏之会員 ◇門間亜砂子会員

◇雪井洋子会員 ◇蓬田忠会員

以上、ご協力ありがとうございました。



R.米山よりの感謝状「第3回マルチプル」を受ける鈴木昭弘会員

**【ロータリー財団委員会】 鈴木 真一 委員長**

	第 1239 回(件数)	合 計
R . 財 団	1 件	¥2,000

◇親松明会員 ご協力ありがとうございました。



長瀬敏之 国際奉仕委員長



鈴木真一 R 財団委員長

**【米山記念奨学委員会】 長瀬 敏之 国際奉仕委員長**

	1239 回 (件数)	合 計
米山記念奨学	1 件	¥3,000

◇親松明会員 ご協力ありがとうございました。

**【会員ショート卓話】 鈴木 昭弘 プログラム委員長**

**記憶メディア『光ディスク』について**

今年度の会員ショート卓話は新会員を中心にお願いしまして、ご協力を有難うございました。

本日は、私がいつかお話ししたいと思っていたことをお伝えしたいと思います。

実は、以前勤務し現在も手伝っている会社が、光ディスク、DVD、ブルーレイの金型を作っている会社です。

お配りした写真のうちグリーンの方は DVD を作る金型です。真中に二つの丸い鏡みたいなものの一つは、特にこの部分に特化した技術を持っていています。もう一枚の写真の大きい丸いものは恐らく 12 cm の CD プレイヤーを作る



金型です。小さい方は、8 cm のシングル CD の型です。この光ディスクを作る金型は大変高度な精度を要求され、CD ですと 0.6 mm のものを 2 枚張り合わせて作りますが、この金型の精度は CD だと 5 ミクロン程度、DVD だと ±3 ミクロン、BR は 2 ミクロン以下の精度を要求されます。特に金型の凹部凸部の高さが 5 ミクロンでも違うと記憶が読み込めなくなったり、反射膜を通らなくなるなど難しい加工技術を要します。型の中央の部分からポリカーボネイトという樹脂を流し込みますが、圧を均一にするための技術に重要な特性があります。4 本ある回路は金型を冷やすために水が注入されて温度を調整します。

この金型の部品は、以前は日本の大手メーカーに供給していましたが、円盤型の記憶メディアの需要が少なくなり、現在は台湾の大手の会社に供給しています。

光ディスクは 1970 年台にソニーとフィリップスという会社が開発を始め、量産されたのは 1982 年です。その後当時の音楽媒体のカセットデープや LP レコードよりもコンパクトで経年劣化が少なく、音質も良いなど格段に優れていると評価され、爆発的に売れ始めました。またソフトウェアの媒体としても優秀で、今までのものが CD や CDR、MD に替わりました。容量は CD については 800 メガになり、第九交響曲(約 80 分)が丸々収まるようになりました。

しかし、開発当初は 100 年または半永久的に劣化しないと言われていましたが、材質のポリカーボネイトが高温や日光に弱く、また表面のアルミが内側の湿気により錆が出るなどがあり、30 年が限界ではないかと言われています。

現在の光ディスクが置かれている立場は、1998 年の 3 億 200 万枚がピークで、メモリーカードなどに移行され、また音楽供給媒体が IT ネットや YouTube に変わり、徐々に円盤型の記憶メディアには限界を感じられます。

**【四つのテスト】**

**【点 鐘】**

**【会報委員会】**

**木村 基 会員**

**森 茂則 会長**

**文責：中山 隆弘 委員**